

# 創業70周年

# 今後100年成長できる企業へ

建設用コンクリートブロックのトップメーカーであるエスビック(群馬県高崎市)は、今年11月に節目の創業70周年を迎える。意匠性の高い化粧ブロック「デザインブロック」の各種シリーズを筆頭に、インターロッキング(工)ブロック、型枠・土留め擁壁、カーテンウォールなどを多彩なラインナップで展開しており、脱炭素社会の実現やSDG達成に向けた先進的な施策も進めている。本特集では柳澤佳雄代表取締役社長にお話をうかがうとともに、独自の取り組みなどを紹介し、同社の今後を展望する。



柳澤 佳雄 代表取締役社長

## SBSストーンが今日の礎に

創業70周年を迎える。柳澤社長、岩の歴史は1952年11月28日に「新日本ブロック研究所」を設立したことに始まる。翌年には新日本ブロック株式会社に改組し、88年には「I(コーポレート)・N(デザイン)・I(コンクリート)」を導き、現在社名「エスビック株式会社」に改めた。私は新日本ブロック時代の78年に入社し、複数の役職を経て創業45周年となる今年に代表取締役社長に就任した。コンクリートブロックを中心とする建築用土石事業に40年以上携わってきたが、新日本ブロックで35年、社名変更してエスビックで35年、やっと折り返し地点に立つ。

# エスビック株式会社

## SPECIAL INTERVIEW

## 柳澤 佳雄

「創業70周年を迎える。柳澤社長、岩の歴史は1952年11月28日に「新日本ブロック研究所」を設立したことに始まる。翌年には新日本ブロック株式会社に改組し、88年には「I(コーポレート)・N(デザイン)・I(コンクリート)」を導き、現在社名「エスビック株式会社」に改めた。私は新日本ブロック時代の78年に入社し、複数の役職を経て創業45周年となる今年に代表取締役社長に就任した。コンクリートブロックを中心とする建築用土石事業に40年以上携わってきたが、新日本ブロックで35年、社名変更してエスビックで35年、やっと折り返し地点に立つ。」



遮熱透水性ILブロック「シャビー」

「その後も時代の変化に合わせて多岐に亘る商品を生みだす。柳澤社長、化粧ブロックに加工を施して意匠や機能性を高めたサイディングブロックの各種カラー、インターロッキング、カーテンウォールなど多彩な用途の製品を開発することともに、事業拡大にむけて取り組んでいる。高付加価値製品を開発することともに、事業拡大にむけて取り組んでいる。高付加価値製品を開発することとともに、事業拡大にむけて取り組んでいる。高付加価値製品を開発することとともに、事業拡大にむけて取り組んでいる。」

## トップメーカー70年のあゆみ

エスビックの歴史は、創業者の柳澤本次(前会長)が戦後復興の一助として日本中に不燃建築住宅を普及させるため、コンクリートブロックの事業化に着手し、1952年に新日本ブロック研究所を創立したことを起点とする。翌1953年には新日本ブロック株式会社として法人化、1988年には社名を現在のエスビック株式会社に改めた。

創業以来、素地ブロックの製造・販売はわが国の高度成長の波に乗っておおむね順調に推移し、1970年代初頭には業界トップの地位を確立したが、二度のオイルショック後は重油の暴騰によるコスト増の教訓を生かすべく、従来品から高付加価値製品への注力転換を図った。これに伴って新規分野にも積極的に参入。1978年に化粧ブロック、1989年にILブロックの製造を開始したほか、1997年に柳澤佳雄現社長が就任した後はカーデニング事業にも進出した。

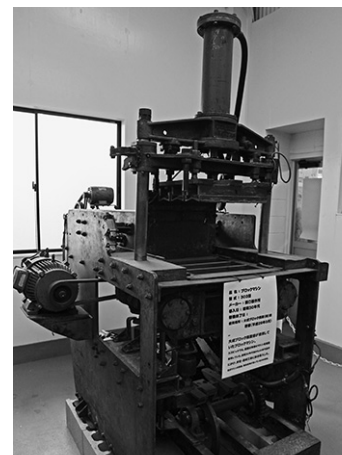


ホームページに載っている1955年ごろの写真

事業拡大に合わせた工場の設備投資も適宜行っており、1960年代には浅川、高崎の2工場を新設。高崎工場には当時世界最高水準だった米国ベッカー社製の全自動ブロックマシンを導入した。1988年12月に絹貫工場、翌1989年1月につくば工場を新設したほか、同11月には高崎工場内にILブロックを造るためのOLB工場も設置。カーデニング事業進出後の2001年4月には同工場内に「エスビック製品総合展示場」も開設した。

多角的な事業展開とそれを可能にする設備投資、強固な物流ネットワークの構築などにより、現在では年間売上げ規模が100億円を超える企業に成長を遂げた。同社のホームページでは、こうした発展の歴史を沿革にまとめているほか「採用情報」に写真付きで掲載している。

○沿革関連ページ  
<https://www.s-bic.co.jp/history/>  
<http://www.s-bic.co.jp/recruiting/history.html>



### 本邦初の「ブロック博物館」

同社は、本社敷地内に国内初となる「エスビック博物館」(約200平方メートル)を開業した。大規模な展示施設として、ブロックの歴史や製造工程、製品の種類などを紹介する。また、ブロック製造現場の再現も行う。博物館は、今年11月に開業する。展示内容は、ブロックの歴史や製造工程、製品の種類などを紹介する。また、ブロック製造現場の再現も行う。

## 高付加価値製品で需要に対応

### CN推進・市場拡大 時代に先駆けさらに発展

「70周年を迎えた後の事業展開について。柳澤社長、11月3日に創業70周年記念式典を開催し、新たな中期経営計画を発表する。65周年の際に示した中期ビジョンは現時点で大半が実現できているが、3Rやゼロエミッションの取り組みをさらに強化していくため、SDGに関する施策を重点項目とする。全量が多いセメント産業と関連の深いブロック業界、ゼロエミッションの取り組みをさらに強化していくため、SDGに関する施策を重点項目とする。全量が多いセメント産業と関連の深いブロック業界、ゼロエミッションの取り組みをさらに強化していくため、SDGに関する施策を重点項目とする。」

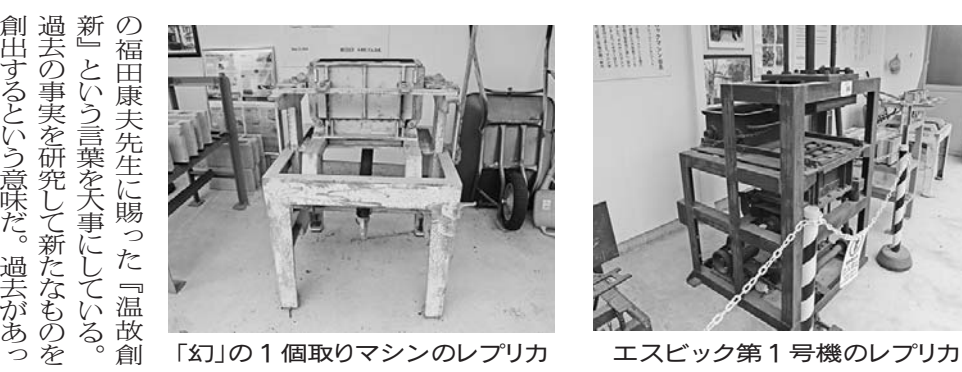
「70周年を迎えた後の事業展開について。柳澤社長、11月3日に創業70周年記念式典を開催し、新たな中期経営計画を発表する。65周年の際に示した中期ビジョンは現時点で大半が実現できているが、3Rやゼロエミッションの取り組みをさらに強化していくため、SDGに関する施策を重点項目とする。全量が多いセメント産業と関連の深いブロック業界、ゼロエミッションの取り組みをさらに強化していくため、SDGに関する施策を重点項目とする。」

「70周年を迎えた後の事業展開について。柳澤社長、11月3日に創業70周年記念式典を開催し、新たな中期経営計画を発表する。65周年の際に示した中期ビジョンは現時点で大半が実現できているが、3Rやゼロエミッションの取り組みをさらに強化していくため、SDGに関する施策を重点項目とする。全量が多いセメント産業と関連の深いブロック業界、ゼロエミッションの取り組みをさらに強化していくため、SDGに関する施策を重点項目とする。」

「ブロックマシン303」(大成ブロック興業寄贈)の展示。同社は、このほか、ブロックに関する膨大な資料をまとめた資料展示室を、お客様対応・新入研修などに活用する。展示室には、同社の歴史や製品に関する膨大な資料をまとめた資料展示室を、お客様対応・新入研修などに活用する。

## 歴史を物語る製造機展示

### 柳澤社長「未来への『レガシー』に」



「幻」の1個取りマシンのレプリカ。エスビック第1号機のレプリカ。柳澤社長は、博物館の開設が、同社の歴史や製品に関する膨大な資料をまとめた資料展示室を、お客様対応・新入研修などに活用する。展示室には、同社の歴史や製品に関する膨大な資料をまとめた資料展示室を、お客様対応・新入研修などに活用する。

## エスビック株式会社は、2022年(令和4年)11月28日(月)に創業70周年を迎えます。

弊社が、1952年(昭和27年)11月28日に「新日本ブロック研究所」を設立し、戦後復興の一助となるため全国に不燃建築住宅を普及させようとしてコンクリートブロックの事業に着手したことで始まりました。今年で70周年を迎えられたのも関係各位様のご支援、ご厚誼の賜物と厚く感謝申し上げます。益々多様化とグローバル化が進む中、お客様のご要望を真摯に捉え、また「人と環境に優しい」、「安心・安全な」製品作りを通じて社会的責任を果たしながら、持続的、安定的成長を目指して鋭意邁進してまいります。今後とも従前以上のご支援、ご協力、ご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

代表取締役社長 柳澤佳雄

安心な製品の提供と安全な施工のサポートに邁進します  
**エスビック株式会社**



- 本社 群馬県高崎市箕郷町上芝105  
TEL: 027(371)2321  
FAX: 027(371)5724
- 高崎支店 群馬県高崎市島野町890-4  
TEL: 027(352)8423  
FAX: 027(352)8427
- 東京支店 東京都豊島区南大塚3-39-2 南大塚MTビル2F  
TEL: 03(3984)2696  
FAX: 03(3987)5328

<https://www.s-bic.co.jp/>

